

洛和会丸太町病院 救急・総合診療科

病院名・診療科名・研修プログラム名

洛和会丸太町病院 救急・総合診療科 後期研修プログラム

住所・連絡先

〒 604-8401 京都府京都市中京区聚楽廻松下町 9-7

電話番号： 075-801-0351(代表)

<http://www.rakuwa.or.jp/maruta/>

<http://maruta-gim.wixsite.com/maruta-gim/>

maruta-GIM_ER-ueda@live.jp

指導医名

- ・ 上田 剛士 医長 記載者
- ・ 石田 恵梨 医員
- ・ 西口 潤 医員
- ・ 南 尚吾 医員
- ・

科の目標としている医師像

広く、深く、心地よく、診療できる医師を目指します。

- ① 広く：当院は病床数 150 床の病院にもかかわらず、年間 3,000 件程度の救急搬送件数があります。そのなかで救急・総合診療科は、一次～三次救急まで重症度に関わらず、ほとんどの内科領域の疾患を扱っています。また救急からの内科的疾患の 8 割が救急・総合診療科に入院しています。救急から集中治療、一般入院まで同じ上級医により一貫した指導をうけながら診療が行えます。本当の総合診療がここにあります。
- ② 深く：救急診療から入院診療、外来診療まで全てにおいてチーム体制で濃厚なフィードバックを全例で受けられるシステムが整っています。EBM の実践に加え臨床研究や論文執筆にも携わります。
- ③ 心地よく： 1 人で患者を抱え込む必要性がありません。皆で楽しく勉強できます。救急患者をそのまま連続して入院診療することで申し送りも不要でスムーズでストレスのない診療が可能となります。一方で専門医による緊急心カテ、緊急内視鏡の 24 時間対応があるので安心です。総合診療科全体でバーベキューやカニ会をするなど科内の仲は非常によく、医局が一つなので他科の先生とも相談しやすい雰囲気です。どんなコンサルトでも自信を持って心地よく受け入れられる医師を目指してもらいます。

スタッフ人数

男性 2 人、女性 2 人

レジデント人数

男性 10 人、女性 1 人

当直

約月 4 回（当直明けの帰宅 可）

診療科独自の病床数

50 床

勉強会やカンファレンスの開催曜日・時間とその概要

朝の勉強会（8時から9時まで） 月曜日～土曜日	月：医長レクチャー 火：抄読会 水：和製大リーガー；Dr 酒見症例検討会&教育回診（午前中） 木：輪読会 金：スタッフ・レクチャー 土：症例検討会
音羽病院総合診療科との合同カンファレンス	月 1 回音羽病院総合診療科と合同でカンファレンスを実施し興味深い症例を互いにディスカッションし切磋琢磨
GIM カンファレンス	月 1 回関西の総合診療科が一堂に会する名物カンファレンス。当院も定期的に症例を発表し、積極的に参加しています。
専門家との合同カンファレンス	神経内科と呼吸器内科に関しては月 1 回、リウマチ膠原病に関して隔月で、その分野のトップクラスの専門家とカンファレンス。神経内科のベッドサイド教育は名物。
ハンズオン勉強会	人工呼吸器勉強会、骨髄生検、輪状甲状腺間膜切開、摂食・嚥下勉強会、関節超音波、超音波ガイド下穿刺、ICLS など盛り沢山のハンズオン勉強会

具体的な研修・業務内容の紹介

朝カンファレンス前にプレ回診で情報を集めます。カンファレンス後に皆で回診します。各チーム毎、週に1回医長の教育回診があります。

日勤帯は主に病棟業務にあたりますが、1チームあたり半日単位で週に4コマの救急外来当番があります。また外来を一コマ受け持ちます。

夕方にはチームでカルテ回診（まとめ）を行います。週に1回は医長カルテ回診がありますので、濃厚なフィードバックを覚悟してください。

すべての患者の診療はチームで行い、全例でスタッフからのフィードバックを受けますが、退院サマリや救急車症例は医長も全例チェックするシステムなので最低2重のチェックを受けます。

その他に、葵祭など京都の祭りの救護活動などにも参加してもらいます。

研修終了後の主な進路

他院総合診療科・内科・救急科・感染症科・膠原病科・内分泌科・産婦人科、当院スタッフ医師など

その他

毎年、数人の後期研修医を募集しています。どこよりも広く、深く、心地よい診療をしたいと考えているならば、ぜひ当院を見学下さい。